

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援：放課後等デイサービスLUMO津波校		公表日	2025年 2月 28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用器具が発達支援等へのスペースとの関係で適切であるか。		○	サーキットの配置を工夫して運動時間が確保できるよう、プログラムを考案している。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員が配慮は適切であるか。		○	サーキットに入る人員をあらかじめ決めておくことでセッションを円滑に進められるようになっている。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に同じ、バリアフリーや情報伝達等、障壁上の配慮が適切になされているか。		○	床を平置にして障壁の数を減らすようにしている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○	朝日セッション終わりに来た道沿いの消毒や清掃を行っている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○	着替えが必要なときに更衣室をお預けしている。	
	6 施設改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		○	空きがあるときに話をする機会を設け、職員同士で施設改善のアイデアを交換したり、フィードバックを行ったりしながら業務改善をしています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○	保護者からいただいたアンケートの結果を参考に自己評価シートに改善点と工夫している点を記載している。	
業務改善	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○	セッションの前後で空きがあるときに職員同士と話をし、業務改善のアイデアを交換しながら業務改善をしています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	外部からの評価が定期的に実施されるため、その結果を業務改善につなげている。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等研修を開催する機会が確保されているか。		○	定期的に社内で個人研修や全体研修を行っている。	
	11 適切な支援プログラムが作成、公表されているか。		○	発達障がいに基づいたプログラムを策定してセッションを組んでおり、朝日保護者の方に向けて毎日に取り組んだメニューをスケジュールで公開している。	
	12 種々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を把握し、適切な支援プログラムを作成しているか。		○	アセスメント時に保護者の方から課題の訴えや要望を伺っている。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こども支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		○	児童発達支援管理責任者と指導員で連携して支援計画を作成し、子どもにとって最善の利益を確保できるようにしている。	
	14 放課後等デイサービス計画が長期計画と共有され、計画に沿った支援が行われているか。		○		
適切な支援の提供	15 こどもの発達行動の状態を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		あるかもしれないが、アセスメントツールとしての認知が十分ではない。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき活動」の「本人支援」「発達支援」「移行支援」及び「地域連携・地域性のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		○	支援計画等デイサービスガイドラインに基づき、支援内容を設定している。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○	活動プログラムの立案において、運営アドバイザーを求めるとともに、チームで立案を行っている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		○	1人がメニューを担当するのではなく、他の指導員とメンバーがメニューを作成し、朝日工夫するようになっている。	
	19 こどもの状況に応じて、個別対応と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。		○		朝日対応は集団で活動をしているので、指導員が個人で対応できるような工夫ができていない。
	20 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで確認して支援を行っているか。		○		支援開始前に打ち合わせをする時としないときがあるので、指導員が対応できるような工夫ができていない。
	21 支援終了後は、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○		支援終了後に振り返りをする機会が少ない。
関係機関や保護者との連携	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。		○	セッション終了後に朝日支援のメニューとその日の活動の様子をスケジュールに記録し、支援の検証・改善につなげている。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切に見直しを行っているか。		○	定期的に児童に関してモニタリングの時間を取り、児童についての情報を職員間で共有している。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。		○	自立支援と日常生活の充実のための活動、活動の提供を組み合わせた支援になっている。	
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育むための支援を行っているか。		○	平均的プログラムの活動を得意な子どもに合わせて提供したり、自己決定を促すための支援を行っている。	
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した職員が参加しているか。		○	会議に参加する前に資料を作成し、子どもの状況をよく理解した職員が参加できるように努めている。	
	27 地域の保健、医療（当該市や区立保健センター）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○	いつでも連絡ができるように緊急連絡先をファイルにしている。	
	28 学校との情報共有（学習計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。		○	送迎時間を学校や各保護者に通知しており、トラブル等が起きた際には連絡を行っている。	
保護者への説明等	29 指導に利用している保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有が適度に行われているか。		○	送迎時に朝日さんだと子どもを職員に話している。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか。		○		
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや相談や研修を受ける機会を設けているか。		○		
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他とのこどもと活動する機会があるか。		○		地域活動の機会が少ないため、今後そういった機会があれば検討したい。
	33 「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。		○		
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。		○	フィードバック等で保護者と話をし、子どもの状況や課題を伝えている。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	フィードバック等で保護者と話をし、必要に応じて家族向け研修を行っている。	
未発達者の対応	36 運営報告、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		○	説明時に十分時間をとり、丁寧な説明を行うことを心がけている。	
	37 放課後等デイサービス提供を構成する際には、こどもと保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえ、こどもや家族の意向を尊重する機会を設けているか。		○	こどもの状況を職員間で話し合い、作成している。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。		○	契約の際に、「児童発達支援計画」を用いて話を確認してから同意を得ている。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、直接必要な助言と支援を行っているか。		○	フィードバック等で保護者と話をし、必要に応じて助言を行っている。	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整えるとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○	苦情があった場合、状況によりお詫言、状況や苦情の内容に応じてお詫言を職員で話し合い職員に報告する。	
	42 定期的に消費等を行うこと、HPやSNS等を利用することにより、活動概要や行事予定、連絡調整等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○	リクコを活用し、定期的に消費等を発信している。	
事業所の行事	43 個人情報等の取扱いに十分留意しているか。		○	個人情報取り扱いについての研修及び指導を行っている。	こどもの不注目で違う方の個人情報をお渡ししてしまったので、十分に確認して取り扱う。
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○	保護者にスクラフの様子をお伝えしている。	
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。		○		
	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	感染症対策シートを用いて、施設内での活動の様子を職員同士で共有、実施している。	
	47 緊急連絡計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出などの必要な訓練を行っているか。		○	職員同士で避難経路のルートを確認し、セッション前に避難訓練をする機会をつくる。	
	48 事前に、障害や予病保護、てんかん発作等のこどもの状況を把握しているか。		○	最初のカウンセリング時にお子さんの障害や予病等と一緒に確認しておいた。そちらを個人ファイルにまとめて確認しています。	
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。		○	おやつ等を支給しないようにしています。	
安全管理	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分な中で支援が行われているか。		○	絵・図を用いて子どもの見えないところに向け、安全に活動を取り組めるように工夫をしています。	
	51 こどもの安全確保に関して、家来等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家来等へ周知しているか。		○		朝日間で安全確保について話しているが、家来研修などでは共有していない。
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。		○	職員間で再発防止に向けた話し合い、ヒヤリハットを作成、全員で共有する。	
53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○	研修の際に、思わぬ行動が子どもに及ぼすことなどについて再確認している。		
54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○	どのような場合にやむを得ず必要か、など後者間で話し合いしている。		